



# Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：鈴木 浩司 幹事：海和 浩運

**地区目標** 元気なクラブづくりのために「ロータリーの木」の苗木を植え  
ましょう、クラブに、地域社会に、世界に、次世代のために

**クラブテーマ** 「ロータリーを発信しよう」一人ひとりの感性で

◆点鐘：鈴木 浩司 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ  
◆司会：伊庭 公也 副 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2863回例会

令和元年11月11日(月)

## 会長挨拶

鈴木 浩司 会長



皆さまこんにちは。本当に久しぶりの例会場での例会ということで、お話ししなければならないことがたくさんあるわけですが、まず、先ほど黙祷を捧げていただきました豊田義一名誉会員におかれましては、本当に西クラブのために多大なるご貢献

をいただきました。ご家族の強い希望もありまして、皆さまへのご案内は差し控えさせていただきました。心の中で手を合わせていただければと思っております。

さて、先ほど申し上げましたようにずいぶん期間が空きましたが、10月11日、高知南ロータリークラブさんをお迎えての例会があったわけですが、その後、台風が直撃しまして、結局飛行機が飛ばずに月曜日頃にお帰りになられたということで、11日の夜、坂本会長と3次会に行きまして「大丈夫ですか」と心配したら、「今日来てるメンバーは帰らなくてもいいメンバーばかりだから気にすることはない」というお話でございましたが、台風の最中来ていただきまして本当に心より感謝を申し上げたいと思いますし、また末永い友情が続くように皆さまにもよろしく願いをしたいと思っております。

10月19、20日と地区大会が行われました。そういった意味では大久保年度の集大成というような形で行われているわけですが、地区大会も終わるとちょっとほっとする気持ちもございますが、気を引き締めて頑張っていきたいと思っております。

10月7日に指名委員会が開かれました。その場で次年度の副会長候補ということで、市村清勝君が指名をされました。12月の総会でご承認をいただく運びになりますが、概ね1カ月前に皆さまのほうに報告をということでございますので、ご報告申し上げたいと思っております。

それから、先週、先々週と、11月2日は寒河江ロータリークラブさんの60周年、先週11月9日は米沢おしょうなクラブさんの20周年ということで、毎週ロータリーをしておりました。本当に、海和幹事には毎回運転をしていただいで

恐縮をしておるところでございます。

本日はいろいろな案件があるかと思っております。後ほど幹事からもいろいろなお話があるかと思っております。そういった中で、先日清野伸昭さんが山形商工会議所の会頭をご退任ということで、本当に長い間山形の経済界を支えていただいたことに心から敬意と感謝を申し上げたいと思っております。お疲れ様でございました。また鈴木隆一さんには引き続き副会頭ということで、そして新たに我がメンバーの武田良和君が若手ということで副会頭にご就任をされたということで、引き続きお2人にも頑張ってもらいたいと思っております。

## 幹事報告

海和 浩運 幹事

- 本日新入会員2名がお見えになっております。荘内銀行の武田さん、ヤスミツ産業の石山さんです。会長よりまず入会グッズのほうお渡しいただきますので、武田さん、石山さん、前にお進みください。
- 米山功労者第26回メジャードナー、遠藤栄次郎会員に届いております。
- 米山功労者第5回マルチプル、清野伸昭さんに届いております。
- 米山功労者第3回マルチプル、鈴木浩司さんに届いております。
- 鈴木浩司さんにマルチプル2回目ということでピンバッジが届いております。
- 地区大会のお礼ということで、書面で、前回の地区大会のお礼ということで届いております。その時に、感謝状が届いております。寄付総額第1位ということで、米山記念奨学会のほう、寄付額が一番だということで届いております。
- 同じくロータリー財団寄付表彰ということで、第1位ということで昨年届いております。
- 過日小松印刷所社長の小松伸子様より当クラブにご寄付をいただきました件につきまして、この件については皆さまにご報告のとおりなのですが、10月の理事会におきまして寄付の用途を協議しました結果、クラブの基金に組み入れることとしましたので、ご報告申し上げます。

●10月11日に高知南ロータリークラブのメンバー9名が、台風の中山形までお越しいただきましたが、歓迎例会、また雨の中のゴルフ、そして山寺観光など、歓待のお礼ということでお手紙が届いております。お手紙の中には「この度のご恩返しは土佐の地で必ずしたい」と強く書いてありましたので、次回の高知訪問にも大勢で参加し、大いに友好を深められるかと思えます。またご参加、ご協力いただきました会員の皆さまには、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。どうもありがとうございます。

●地区より、日本と台湾のロータリー親善友好を目的とした会合、第7回日台ロータリークラブ親善会議のお知らせが届いております。開催日時は来年2020年3月6日で、福岡開催となっております。出欠につきましては地区のほうに取りまとめしているようですので、ご参加ご希望される方は事務局までご連絡をお願いします。

●来年2020年になりますが、日本のロータリーが100周年を迎えます。100周年実行委員会より記念バッジ、ピンバッジが届いておりますので、皆さまのボックスに入れていただきました。ぜひお帰りの際はボックスよりお持ち帰りいただければと思います。

●本日、例会終了後に理事会を開催させていただきますので、関係者の方はお残りいただきますようによろしくお願ひします。



## 委員会報告

佐藤 英一 副委員長

## 親睦・家族委員会

会員の方が9名、奥様が4名、11月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

## 次年度理事メンバー報告

会長エレクトの佐藤章夫でございます。山形西ロータリークラブの細則第2条第1節の2には「会長エレクトは次年度幹事改定および4名の理事候補者を指名し、年次総会の概ね1カ月前の例会においてその氏名の発表をしなければならない」ということですので、この細則に基づいて次のように発表いたします。

2020年度常任委員長理事会会長エレクト、東海林健登会員。副会長市村清勝会員。理事、安部弘行会員。理事、浦山潔会員。理事、遠藤靖彦会員。理事、戸田正宏会員。幹事、遠藤正明会員。会計、海和将浩会員。以上でございます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

## 会員卓話

### 「R財団について」

国際ロータリー2800地区  
ロータリー財団委員長 P G

長谷川 憲治 氏



皆さま、こんにちは。今年度、ロータリー財団の委員長を拝命しています、山形クラブの長谷川でございます。財団についてお話を申し上げ、ご理解を賜りたいと思いますのでよろしくお付き合いをお願いいたします。

まず、お手元にレジュメを配っておりますのでそれに沿ってお話申し上げますが、1番目に「ロータリー財団委員会の仕事・目的」と書いております。今月の23日に財団セミナーを開催いたします。そこで詳しくお話を申し上げますので、ここでは省略いたします。

2番目に「世界の現状」と書いてありますが、日本でも最近、貧富の格差拡大により貧困層の増大、これが大きな社会問題になってますが、世界ではもっと悲惨です。これも時間がないので省略いたします。

3番目に、ロータリー財団の使命はロータリアンが恵まれない人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。それを実現するために財団は、例えばポリオ撲滅運動でありますとか、いろんな世界的な運動を展開したり、あるいはグローバル補助金、地区補助金を交付しまして、皆さまの奉仕活動のお手伝いをしているわけでありまして、当2800地区でも今年度、38の事業に対しまして合計653万円の地区補助金の承認をしております。また、グローバル補助金は、幸い今年度は1件、海外奨学生のグローバル奨学金として3万ドル、324万円が承認されてます。しかも2件は申請中でありまして、もしかすると年間に3件のグローバル補助金が承認されるかもしれないという、大変皆さん熱心に取り組んでいただいているということもご理解いただきたいと思ひます。

4番目は、そのロータリー財団の始まりは今から102年前、1917年6月18日にアトランタで開催されました第8回ロータリー年次大会で、当時のRI会長、アーチ・クランプが「慈善、教育、その他の社会奉仕の分野において世界で良いことをするための基金を作るのが極めて適切であると思われる」と、演説をしまして、その後1カ月以内にこの基金に初の寄付金26ドル50セント、約2,862円です、これが寄せられたことから始まっています。

以来、100年余が過ぎまして、今では年間3億9,500万ドル、426億6,000万円もの金額が集まるようになりまして、世界中の各地区、各クラブへ地区補助金、グローバル補助金等の提供を通じまして皆さんの奉仕活動の支援をしております。そして世界平和の実現に貢献をしているわけでありまして。特にポリオ撲滅は、画期的成果だと思ひます。32年前にRIがポリオ撲滅運動に取り組み、その時の患者数、世界125カ国に35万人いたんです。32年間、25億人を超える子どもたちにワクチンの接種等の運動をしてきました。その結果、一時はアフガニスタン3名とパキスタン6名、合計2カ国9名まで減りました。ところが、残念ながらあの地区は、紛争が激しいものですから、今は危険で接種活動ができないんです。その結果、アフガニスタン13名、パキスタン53名の2カ国66

名にまで若干増加してはいますが、それでも撲滅まであと1歩であるということは確かであります。

RIも最近「撲滅」という言葉から「根絶」という言葉に変えまして、この間地区大会でもRI会長代理が言っておられましたが、根こそぎ絶やすと、本当に根絶まであと1歩まで来るということは事実でありまして、そのバックボーンが財団である、その財団を支えるのが皆さまからの寄付金であるということをご改めて強調しておきたいと思っております。

そして5番目に、そういう財団の意義を再確認していただきまして、ぜひ寄付の推進をお願いしたいんですが、残念ながら地区は3年間減り続けております。しかし、嬉しいことに西クラブさんは3年間年々増えてまして、昨年は見事達成しておられます。そして地区としてもこの150ドルの目標、なんとか達成していきたいと考えております。

6番目に、寄付をすると顕彰制度がございます。1つにはポール・ハリス・フェロー。これは財団への寄付金が1,000ドル、10万8,000円になった方でありまして、山形西クラブさんでは34名いらっしゃいます。そして、1,000ドル達成ごとにマルチプル、第2回マルチプル、第3回マルチプル・ポール・ハリス・フェローとなりまして、このマルチプルは西クラブさんでは23名いらっしゃいます。そして2つには、メジャードナー、これは財団への寄付金が1万ドル、約108万円、西クラブさんからは2名いらっしゃいます。なおかつメジャードナーに近い方が、1名いらっしゃいますので、ぜひ3名のメジャードナーの誕生を楽しみにしたいと思います。

最後に4つの事例をご紹介申し上げまして私の話を終えたいと思っております。1番目はイギリスのチャリティー団体、チャリティーズ・エイド・ファンデーションが、人助け、寄付、ボランティアの3項目についての評価を各国別にまとめまして、発表する世界寄付指数、ワールドギビングインデックス2018年の調査で、日本は世界144カ国中、なんと128位。項目別では、1つ目の「他人を助けたか」142位。144カ国中、なんと下から3番目です。そして2つ目の「寄付をしたか」99位。そして3つ目の「ボランティア活動をしたか」56位です。世界第3位の経済大国でありながらこの状態は、大変悲しいことだと思います。

そして2番目のエピソードは、3年前の国際協議会、2日目の夜の歓迎晩餐会で、私ども夫婦の座ってるテーブルに、バングラデシュのガバナーエレクトが、私どもが日本人だとわかり、それまで非常におとなしく食事していらっしやっただのが、突然堰を切ったように話を始められたんです。その内容を要約して申し上げますと、バングラデシュはとっても貧しい国で、子どもたちのための清潔な飲み水はおろか、学校も何も、本当に満足に提供できていないんだと。そういう我が国のために、日本のロータリアンが大変な貢献をさせていただいて、そのことを直接日本人のロータリアンにお礼が言えて嬉しい、というお話でした。バングラデシュのガバナーエレクトは、「どうかすべての日本人は、日本のロータリアンはそういう素晴らしいことをしていることをぜひ知ってほしい、日本のロータリアン素晴らしい、ありがとう、ありがとう」、まさに涙を流さんばかりに言ってくださったんですよ。

初めて「ロータリーっていいのはこんなにいいことしてるんだ」って私なりに実感できた瞬間でもありました。今思えば、これはグローバル補助金を活用しての奉仕事業、それに対するお礼を言われたんだということが今ならわかるんですが、そういうことを支えるのも財団への寄付金だということもぜひご理解いただきたいと思います。

そして3番目、1979年から80年度にかけて、RIの会長をされましたジェームスL・ポーマーという方がいらっしゃいま

す。ポリオワクチンの接種活動をしていたポーマー、次の母親から女の赤ちゃんを受け取り、ポリオワクチンを接種し、母親に返した。その時ポーマーは誰かが自分のズボンを引っぱるのを感じた。そこには車椅子に座った若い少年がおり、その腕と足はポリオによる麻痺で萎えている。少年はポーマーにこう言った。「ありがとう、ロータリー。ありがとう。その子は僕の妹なんだ」、思いもよらないこの少年の言葉が、ポーマーにどれほどの感動と深い影響を与えたか、想像するに難くない。

要するに、ロータリアンは25億人に接種活動をしてきました。その女の赤ちゃんは25億人分の1人なんですが、その少年にとってはたった1人の妹なわけです。そのたった1人の妹を自分のようにポリオにかからせたくない。そういうその少年の思い、願い、それにロータリーは応えてきたんです。そのバックボーンが財団であり、皆さんからの寄付だということもぜひご理解いただきたいと思います。

そして最後であります、『抜粋のつづり』という本が今年の1月に配られていると思います。最初に「表彰ということ」という素晴らしい話があるので、私が代わって読み上げます。毎月福祉施設に5,000円のお金を35年間も送り続けている女性に会いに行った。8畳1間の木造アパートに住み、新聞配達をしている70歳の女性は、僕の取材をかたくなに拒むのをやっとお願ひした。彼女は2歳の時親が病死、施設に預けられる。中学を出て働いた紡績工場で20歳の時、工場の男性と結婚。7年間に3人の女の子が生まれるが、彼女が30歳の時、夫は結核で死亡。彼女は夫の少額の退職金で道端でリヤカーを店にしてネクタイを売る。上の子は小学生、あとの2人をリヤカーの横で遊ばせる。ネクタイは1日に1本くらいしか売れなかった。ある時、中年の女性が来て、「このたい焼き、子どもさんに」と差し出され、涙がほとばしった。冬の雪の日、2人の子どもが空腹と寒さで泣きわめいている時、初老の紳士が来てネクタイを1本買ってくれる。彼の身なりから、とても彼女が売る安物のネクタイを身に付ける人とは思えなかったという。彼は一言もしゃべらず、つり銭も取らずに去っていった。まもなく彼女は徒勞で倒れ、市役所へ行き、医療費の助成を頼んだが、規則で金は出せないとされた。しかしその職員は自分用の牛乳を1本持たせてくれて、「力不足でごめん」と謝ったそうだ。彼女は露店をやめて新聞配達を始める。高校へ入った上の子が、夜は食堂の茶碗洗いのアルバイトをして、2人の妹の世話をした。ある日、新聞で親のいない子の施設が経営難と知り、彼女は即座に5,000円を送った。名前は伏せた。家族4人の生活は苦しかったが、自分を助けてくれた人々を思うと、苦しいなんて言われていなかったと言う。35年間の毎月の送金が知れ、市が表彰をしたいと言ってきた時、彼女はきっぱり辞退した。「私は昔、ある人からたい焼きをいただいた時、決心したんです。1つの手は自分と家族のために、もう1つの手は人様のために使おうと。私のしたことなんかたいしたことはない。表彰するなら私に牛乳をくれた人や、ネクタイを買ってくれた人を表彰してください。」

35年間匿名で送り続けている志と行動に、ただただ頭が下がる思いがするんです。こういう方いらっしゃる中で、ロータリアンが10,800円、年間、寄付できないということは絶対言えないんじゃないかと思っております。ぜひロータリーの意義をもう1回ご確認いただいて、財団へ格別のご理解とご寄付を賜りますように。

もう1つ、米山へのご支援もよろしくお願ひ申し上げまして、ちょうど時間がまいりましたので、私の話を終わらせていただきます。ご清聴誠にありがとうございました。



## 新入会員紹介



ヤスミツ産業  
石山 茂利 さん

はじめまして。ヤスミツ産業の石山と申します。本日は歴史と伝統ある山形西ロータリー様へ推薦およびご入会ご承認いただきまして、誠にありがとうございます。何もまだ分かりませんので、皆さまからのご指導、よろしくお願い致します。

大学卒業しまして、殖産銀行酒田支店に入行させていただきました。今日、お見えになっている長谷川さんのもとで、ご指導いただきました。その後、実家であるヤスミツ産業に入社しまして、5年前に社長就任とさせていただきました。

皆さまのご指導、頑張りますので、よろしくお願い致します。



荘内銀行  
武田 朋広 さん

このたびは、本当に歴史ある西ロータリークラブへの入会ご承認いただきまして、誠にありがとうございます。

今回、ロータリーさんに入れていただきましたが、まだ、山形商工会議所の青年部にも入っております、今年の3月で一応卒業ということになっておりまして、掛け持ちということになります、一生懸命、出席して、早く雰囲気にも慣れて、皆さまと一緒にやっていけたらと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

## 本日の献立



### <本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (11/11)	95名	51名	修正出席 (10/20)	94名	88名	85名	96.59%
メイクアップされた会員	(山形東) 松原 洋 (イブニング) 武田 博文、藤田 良仁、清野 伸昭、市川 秀徳 (山形北) 後藤 光政、武田 博文 (山形南) 高橋 勝治						

## ニコニコBOX

<11月11日>

鈴木浩司会長／長谷川パストガバナー、ロータリー財団委員長をお迎えして。

本日は大変お忙しい中、我が山形西ロータリークラブ例会においでいただきましてありがとうございます。

清野伸昭さん／感謝!!

10月31日をもって、山形商工会議所会頭を退任いたしました。在任中は皆様よりご支援を賜り、お陰様で大過なく過ごすことができました。また、この度はからずも秋の叙勲の荣誉に浴し、感激しております。これも日頃よりご指導、ご支援の賜物と改めて感謝し、ここにニコニコいたします。

飯田喬之さん／山形市市民美術展。

市議長賞を陶芸作品で頂きましたので、ニコニコします。

坂部登さん／長谷川パストガバナーをお迎えして。

ロータリー活動はもちろん、いのちの電話など幅の広い奉仕活動に敬意を表します。

佐藤充昭さん／社長業を息子と交代して。

当社、佐五郎は11月1日付で息子「浩之」にバトンタッチ致しました。今後とも皆様からは、今まで同様ご愛顧の程を、よろしくお願い致します。

吉田福平さん／清野さん、9年間、山形商工会議所会頭ご苦勞様でした。副会頭に西ロータリークラブ南校OB、武田良和くん。山形南高OB初の就任おめでとう。ご活躍、ご祈念申し上げます。

武田元裕さん／長谷川憲治パストガバナーようこそ!

パストガバナーの卓話、しっかり拝聴いたします。

市村清勝さん／1. 長谷川憲治ロータリー財団委員長をお迎えして。長谷川憲治先輩の話はとても分かりやすく、素晴らしい効果が期待できていると思っています。

2. 現代の名工。弊社の社員が「現代の名工」ということで、厚生労働大臣より、本日表彰を受けました。先日、山形新聞にも紹介されました。長年の努力が実った思いです

友好クラブ委員長 長岡勲さん／お世話になりました。

9月末より金沢あり、高知あり、おまけに台風ありと2週間の間立て続けにイベントが重なりました。皆様にはそれぞれ臨機応変に対応していただきありがとうございました。

武田秀和さん／シンガポールの展示会、「Food Japan」に参加してきました。

10月31日から11月2日にシンガポールにて開催された、日本食の展示会「Food Japan」に参加してきました。山形県でブースを出しており、一緒に参加した会社は鋳物の「清光堂」様、日本酒の「月山酒造」様、イカ加工の「飛鳥フーズ」様、そして「でん六」様といった素晴らしい会社でした。シンガポールのインポーターに良い感触を持っていただき、来年3月までにはシンガポールに輸出できそうです。